

整理番号	2018M-	089	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	X線回折装置
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	--------

別紙 JKA補助事業 平成30年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2019	年	1	月	23	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を、予定どおり行い、X線回折装置を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等への活用を開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	入札、契約等を行い、無事導入することができた。これまでの機器と同様の担当職員3名で、円滑な運用ができる体制とした。				採点 4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 平成30年12月	[達成状況] 120%	[具体的内容] 平成30年12月7日に検収を実施した。予定を上回って早期に導入できた。	採点 5
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 76.1時間/月 2: 100%[満足及びほぼ満足が5社(調査数5社)]	[達成状況] 1: 305% 2: 143%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を大きく超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業に対する波及効果は十分あったと考える。	採点 5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 170部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 170% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを170部配布した。開放機器受付、セミナー、発表会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 170部 2: 4箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 170% 2: 200% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、170部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している部屋、玄関ロビー2箇所、技術相談室受付付近へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
(5) 自己評価の体制	平成31年1月23日に評価委員会(理事長ほか9名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				採点 4

(b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査を行い、県内企業のニーズを把握した上で企業の関心の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定を上回る利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器は、セラミックス、金属、医薬品等に含まれる化合物の同定において、これまでの現有機器と比較して、より高精度、高感度な分析が可能となった。加えて、光学系や検出器の簡便な切替操作のみで粉末・バルク試料から薄膜材料までの幅広い形態の試料の測定が可能となったことや試料水平型機構の導入により測定中の試料落下を防止できる等の操作性にも優れるために、県内企業のものづくり技術の高度化に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]